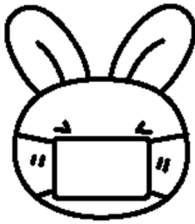


保護者各位



## 新型コロナウイルス感染防止の対応について

認定こども園 舞戸保育所

園長 吉田 諭大

世界的に流行しつつある新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について、日本でも感染の報告が増えており、嚴重な対応が急務となっています。本園では国の指針等に基づき、下記のとおり対応することとしましたのでお知らせします。子どもたちへの感染防止のためご理解とご協力をお願いします。なお、本対応は現時点でのものであり、今後の状況を判断しながら適宜見直すこととします。

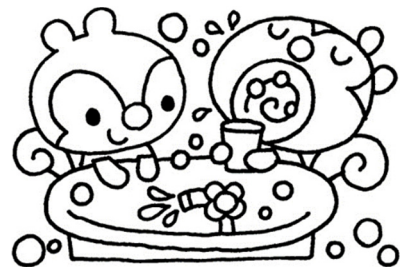


### <ご家庭へのお願い>

1. 毎朝(お休みの日も)、ご家庭で健康観察と検温を行ってください。(健康観察票に記入をお願いします。)
  2. 朝の時点で37.0℃以上の発熱や風邪の症状がある場合は登園を控えてください。
  3. 送迎時は、園の玄関前に設置してある消毒液で手指の消毒をお願いします。
  4. 登園後、園で37.5℃以上に発熱した場合は連絡させていただきますので迎えをお願いします。
  5. 当分の間、降園時のお子様の引き渡しは玄関で行います。来園されましたらチャイムのボタンを押してお知らせください。
- ◎ 不要な外出や人混みを避けましょう。
  - ◎ 手洗い・うがい、手指の殺菌消毒、咳エチケットを徹底しましょう。
  - ◎ 十分な睡眠とバランスの取れた食事を取り、免疫力を保ちましょう。
  - ◎ 大規模な流行に備え、食料品や生活必需品をいつもより多めに確保しておきましょう。
  - ◎ 新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染を理由とした差別・偏見が生じないように配慮しましょう。

### <園の対応>

1. 発熱等の風邪症状の見られる園児・職員の出席・出勤停止措置の実施
2. 手洗い・うがい、手指の殺菌消毒の励行
  - ◎ 泡せっけんでの手洗い。「(あわあわ手あらいのうた)でポイントを押さえた手洗い)
  - ◎ ペーパータオル完全使用。
  - ◎ ぶくぶくうがい・ガラガラうがい。(うがいができない子は麦茶をこまめに飲んで喉を保護。)
  - ◎ 登園時・手洗い後・食事前など、消毒液(アルコール製剤・高精度次亜塩素酸水(ハセツパー水))で手指の殺菌消毒。
3. 環境整備の徹底
  - ◎ 保育室の温度・湿度の管理、こまめな換気。
  - ◎ 空気清浄除菌脱臭装置・ハセツパー水噴霧器・加湿器のフル稼働。
  - ◎ 殺菌車による玩具の殺菌消毒。
4. 消毒対象の拡大
  - ◎ ドアノブ・手すりなど子どもが触れる部分の消毒。
  - ◎ 殺菌する玩具の範囲の拡大、殺菌回数が増数。
5. 保育手順の見直し
  - ◎ おむつ交換時の手袋完全使用。
  - ◎ 体調不良、風邪症状発現時の早めのマスク着用。
6. (※状況に応じて) 行事の延期・自粛・開催方式の変更、臨時休園・施設封鎖措置等の実施
  - ◎ 発生状況によっては、行事の自粛や内容の変更、県または町の指示により臨時休園等の措置を行う可能性があります。
  - ◎ 保護者が医療・ライフライン・インフラ・警察・消防関係の場合などで、どうしてもお仕事を休めない場合は別途配慮します。



## 新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安

### 1. 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。



新型コロナウイルス感染症  
について(厚生労働省)

### 2. 帰国者・接触者相談センターに御相談いただく目安

- 以下のいずれかに該当する方は、帰国者・接触者相談センター  
(五所川原保健所 0173-34-2108)に御相談ください。
  - ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方  
(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。)
  - ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
- なお、以下のような方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、  
帰国者・接触者相談センターに御相談ください。
  - ・ 高齢者
  - ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方
  - ・ 疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方



新型コロナウイルス感染症  
について(青森県保健衛生課)

(妊婦の方へ)

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

(お子様をお持ちの方へ)

小児については、現時点で重症化しやすいとの報告はなく、新型コロナウイルス感染症については、目安どおりの対応をお願いします。

- なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

### 3. 相談後、医療機関にかかる時のお願い

- 帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。